

# 「羽包み(はくくみ)」

第六号 平成22年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 [shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp](mailto:shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp)

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

## 原点回帰

ホーム長 前川 礼彦

12月1日を持ちまして、湘南つばさの家は5年目を迎えました。

昔、先輩ホーム長から「勢いだけでホームが続くのは5年が限界だ」と言われたことがありました。思えば始めた頃は見知らぬ土地にて、近隣に知り合いも居なく、ホームには何も揃ってない中で、心細い思いを抱きながら毎日を送ったものです。

あれから月日が流れました。多くの支援者に巡り合い、信頼できるスタッフに助けられ、何とかここまでやらせて頂くことができました。

いつの間にか心に余裕が生まれたのか、甘えが出来たのか。一生懸命取り組んでいたつもりですが、毎日の忙しさに追われ、肝心な思いを置き去りにしていたのかもしれない。

何故この仕事を選んだのか。

私は少年たちに何を伝え、何を大切としていきたいのか。

自分が行うという覚悟は本物か。そして本気で取り組んでいたのか。

想いと行動は繋がっているのか。

それらは、どうしようもない困難に直面したとき、自分の心に突きつけられるものです。

日々はどの様にも過ごせる中で、行きつくところは自分の心の在りようだという事に戻っていくのです。

困難や悲しみを抱えた少年たちと出会い、触れ合う喜怒哀楽の中で人の優しさを示していくこと。次世代が明るく優しい時代になるために、私は沢山の支援者と共に少年たちの心に長い年月をかけて働きかけていきたいのです。

そしてこの言葉も先輩ホーム長から教えて頂きました。

「仕事は大変だと思うより、まずは楽しまなきゃ。」

・ ・心が元気で、楽しむためには、やはり我々の心と工夫次第なのです。

今後とも湘南つばさの家のご支援をどうか宜しくお願い申し上げます。